

令和2年5月21日

食品ロス削減及びフードバンク支援を
推進する議員連盟 御中

一般社団法人全国フードバンク推進協議会
代表理事 米山 恵子

新型コロナウイルス感染症により重度化する貧困問題に対応するための フードバンク活動支援に関する要望書

現在、国内のフードバンク団体では、新型コロナウイルスの影響により生活に困窮する世帯、学校の休校により給食がなくなったため十分な食事を取ることのできない子供達に緊急的な食料支援を行っています。

行政等からの支援要請の急増に伴い作業量が増加する一方で、緊急事態宣言や外出自粛要請に伴いボランティア参加者が激減しています。増加した作業量に対して、通常よりもはるかに少ない人員で対応しているため、活動現場には大きな負担が掛かり疲弊しています。

このような国難ともいえる危機的な状況の中で、今後さらに悪化が予想される貧困問題に対して、フードバンク団体が効果的な支援活動を継続的に行うことができるよう、以下の事項についてご支援を賜りたくお願い申し上げます。

◆要望事項

1. 地方公共団体向けに創設される「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（仮称）」※1の中で、フードバンク活動への補助（人件費、事務所、倉庫、配送コスト等）を対象事業として明記してください。

※1（令和2年4月7日 閣議決定）「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策 ～国民の命と生活を守り抜き、経済再生へ～」

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/novel_coronavirus/th_siryou/200407kinkyukeizaitaisaku.pdf

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策 P7

“新型コロナウイルスの感染拡大を防止するとともに、**感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し地方創生を図るため**、本経済対策の全ての事項についての対応として、地方公共団体が地域の実情に応じてきめ細やかに必要な事業を実施できるよう、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（仮称）」を創設する。”

◆要望の背景

(1) フードバンク活動支援に関する法的根拠について

国及び地方公共団体のフードバンク活動に対する支援については、令和元年5月24日に成立した食品ロス削減推進法及び、令和2年3月31日に閣議決定した基本方針に、以下のとおり明記されています。

消費者庁 食品ロス削減推進法（令和元年5月24日成立）第19条

第十九条 国及び地方公共団体は、食品関連事業者その他の者から未利用食品等まだ食べることができる食品の提供を受けて貧困、災害等により必要な食べ物を十分に入手することができない者にこれを提供するための活動が円滑に行われるよう、当該活動に係る関係者相互の連携の強化等を図るために必要な施策を講ずるものとする。

2 前項に定めるもののほか、国及び地方公共団体は、民間の団体が行う同項の活動を支援するために必要な施策を講ずるものとする。

食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針（令和2年3月31日閣議決定）P12

フードバンク活動が行われている地方公共団体等においては、消費者、産業振興、環境、保健福祉等の関係部局間で連絡を密にしながら、フードバンク活動の基盤の強化に向け、フードバンク活動団体との連携に配慮するとともに、必要な支援を検討、実施する。

(2) 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う市民生活への影響

- ▶ 休業や休校に伴う収入減、支出増により生活困窮世帯が急増
 - ・ 宿泊、観光、飲食等のサービス業で休業や失業により労働者の収入が減少
 - ・ 子供のいる世帯では学校休校により、給食がなくなり食費の支出が増加
 - ・ 生活基盤が脆弱な世帯の生活状況がさらに悪化し、生活に困窮する世帯が急増
 - ・ リーマンショックと比べても、一般家庭の生活に悪影響がでるスピードが早い

(3) 全国のフードバンク団体の活動状況

- ▶ 支援要請の急増
 - ・ 現在、国内では約120のフードバンク団体が活動しており、全ての都道府県において、最低でも1団体が活動している
 - ・ 福祉課、社会福祉協議会、支援施設・団体からの支援要請が急増
 - ・ 通常時と比べて支援要請件数が1.3倍から一部団体では5倍程度まで増加

- ・ 社会福祉協議会の緊急小口資金の貸付申請と合わせて、今日明日食べるものが無いという相談も増加
 - ・ 今後さらに支援要請が増加することが予想される
- ▶ ボランティアの募集自粛による深刻な人手不足
- ・ 感染拡大予防のため、ボランティアの募集を自粛せざるを得ず、ボランティア参加者が極端に減少、または0人になっている
 - ・ 支援要請の急増に伴うフードバンク団体の業務量の増大に対して、通常時よりも極端に少ない人員で対応しているため、活動現場には大きな負担が掛かり疲弊している
- ▶ 支援に必要な食品寄贈量の団体間の格差
- ・ フードドライブ（一般家庭から、食品の回収拠点やイベント等で食品を募る活動）を中止している団体が多く、個人からの食品寄贈に頼る団体では食品の寄贈量が減少
 - ・ また、支援要請が増加したため、食品取扱量が少ない団体では支援に使用する食品の在庫が不足
 - ・ 一方で、ある程度認知度や実績のある団体では企業からの食品寄贈が増えており、食品取扱量も増加している。しかし、食品の保管、運搬、配布にかかる業務が増加する一方で、ボランティア参加者が不足しており、現場のスタッフには大きな負担が掛かっている

(4) 世界におけるフードバンク活動と公的支援

- ▶ アメリカではフードバンクが大規模な食料支援を実施
- ・ 全米最大の食料支援団体である、フィーディング・アメリカの活動による全米の困窮世帯への総食品提供数は 43 億食
 - ・ 支援者数は 4600 万人で、そのうち子供が 1200 万人 (26%)、高齢者が 700 万人 (15%)
- ▶ 大規模なフードバンク活動を支える行政機関からの助成金
- ・ Northern Illinois Food Bank の収入のうち、行政からの助成金の割合は全体の約 3 割 (約 3 億 5 千万円)で、行政からの財政的な支援が大規模なフードバンク活動を支えている (表 1)

表1 Northern Illinois Food Bank 収入の内訳（物品・サービスの寄付を除く）

収入	金額（1USD=110円）	割合
行政機関からの助成金等	348,192,460 円	31.7%
寄付等	266,648,250 円	30.5%
サービス費用	403,746,200 円	36.8%
その他	4,041,730 円	1.0%
合計	1,022,628,640 円	100%

出典：三菱総合研究所（2010）「フードバンク活動実態調査報告書」P91-92のデータを基に弊社作成

▶ イギリス政府の慈善団体に対する財政支援

- ・ イギリスでは、新型コロナウイルス感染症への対策として、運営難に陥っている慈善団体への支援に **7 億 5000 万ポンド（約 1012 億円）** を拠出

出典：BCC ニュース（4月9日）「英政府、慈善団体に1千億円規模の助成 新型コロナウイルス対策」

<https://www.bbc.com/japanese/52225401>

要望書賛同団体（都道府県順・73 団体）

都道府県	団体名	代表者役職	氏名
北海道	NPO 法人フードバンクイコロさっぽろ	代表理事	片岡有喜子
北海道	フードバンクネットワークもったいないわ・千歳	代表理事	岩本典子
北海道	NPO 法人ピーシーズフードバンク旭川	理事長	井上俊一
岩手県	NPO 法人フードバンク岩手	理事長	伊勢昭一
宮城県	一般社団法人フードバンクいしのまき	代表理事	末永 博
宮城県	NPO 法人ふうどばんく東北 AGAIN	代表理事	地主雅信
宮城県	NPO 法人いのちのパン	理事長	大友幸証
秋田県	一般社団法人フードバンクあきた	代表理事	林多 実
秋田県	NPO 法人秋田たすけあいネットあゆむ	理事長	保坂ひろみ
山形県	やまがた福わたし(フードバンク山形中央)	代表	伊藤智英
福島県	NPO 法人ザ・ピープル	理事長	吉田恵美子
茨城県	NPO 法人フードバンク茨城	理事長	大野 寛
埼玉県	NPO 法人フードバンクネット西埼玉	代表理事	黒田和代
埼玉県	フードバンクいるま	代表	服部昌夫
千葉県	フードバンクちば	代表	菊地 謙
千葉県	とうかつ草の根フードバンク	代表	梅澤一雄
千葉県	フードバンクふなばし	代表	笹田明子
東京都	NPO 法人フードバンク狛江	理事長	田中妙幸
東京都	NPO 法人フードバンク八王子えがお	理事長	佐野英司
東京都	NPO 法人フードバンク TAMA	理事長	神山治之
東京都	フードバンク調布	理事長	安保久恵
東京都	一般社団法人フードバンク八王子	代表	國本康浩
東京都	フードバンクいたばし	代表	藤村行一
東京都	NPO 法人フードバンク八王子えがお	理事長	佐野英司
神奈川県	NPO 法人報徳食品支援センター	理事長	田嶋 享
神奈川県	NPO フードバンク横浜	理事長	加藤安昭
神奈川県	フードバンクかわさき (非営利型一般社団法人ファースト・ステップ運営)	代表	高橋実生
神奈川県	NPO 法人神奈川フードバンク・プラス	理事長	本岡俊郎
神奈川県	NPO 法人フードバンクひらつか	理事長	大関めぐみ
新潟県	フードバンクしばた	代表	佐藤哲也
石川県	NPO 法人フードバンク小松	理事長	丸谷はるえ
福井県	NPO 法人フードバンクふくい	理事長	出雲晴夫
山梨県	認定NPO 法人フードバンク山梨	理事長	米山恵子
長野県	NPO 法人NPO ホットライン信州	理事長	村上晃
長野県	認定NPO 法人フードバンク信州	理事長	佐藤豊
岐阜県	フードバンクぎふ	代表	赤星守雄
静岡県	NPO 法人POPOLLO	理事長	望月健次

愛知県	認定 NPO 法人セカンドハーベスト名古屋	理事長	山内大輔
愛知県	フードバンクのわみ	代表	三輪憲功
愛知県	フードバンクかすがい	代表	柴垣康子
愛知県	フードバンクのわみ	代表	三輪憲功
愛知県	NPO 法人フードバンク愛知	理事長	木原賢治
三重県	フードバンク ISE	代表	新垣玄龍
滋賀県	フードバンク滋賀	代表	太田茂雄
滋賀県	フードバンクびわ湖	理事長	曾田俊弘
京都府	NPO 法人セカンドハーベスト京都	理事長	澤田政明
京都府	NPO 法人フードバンク京都	理事長	高島由美
大阪府	認定 NPO 法人ふーどばんく OSAKA	理事長	赤井隆史
兵庫県	認定 NPO 法人フードバンク関西	代表理事	浅葉めぐみ
奈良県	NPO 法人フードバンク奈良	代表理事	渡辺一城
和歌山県	NPO 法人フードバンク和歌山	理事長	古賀敬教
岡山県	学校法人順正学園 (順正デリシャスフードキッズクラブ)	理事長・ 総長	加計美也子
岡山県	フードバンクアリス	代表	稲見佳子
岡山県	認定 NPO 法人ハーモニーネット未来	理事長	宇野均恵
岡山県	フードバンクせとうち	代表	港定 明
広島県	NPO 法人フードバンク福山	代表理事	小林由卓
山口県	NPO 法人フードバンク山口	理事長	今村主税
愛媛県	NPO 法人 e ワーク愛媛 (えひめフードバンク愛顔)	理事長	難波江任
高知県	フードバンク高知	代表	青木美紀
福岡県	FBO フードバンク大牟田	代表	岩田千太郎
福岡県	フードバンクくるめ	代表	浦川豊彦
福岡県	一般社団法人福岡県フードバンク協議会	理事長	高山昭彦
福岡県	NPO 法人フードバンク北九州ライフアゲイン	理事長	原田昌樹
福岡県	NPO 法人チャイルドケアセンター	代表理事	大谷清美
佐賀県	フードバンクさが	代表	干潟由美子
長崎県	一般社団法人ひとり親家庭福祉会ながさき 社会福祉法人南苑会熊本藤富保育園	理事長	福地照子
熊本県	(フードバンク熊本)	代表	鬼塚静波
大分県	一般社団法人大分こころのケアセンター (フードバンク東九州)	代表理事	三好 修
鹿児島県	NPO 法人 J o y ステーション (フードバンクお助けマン霧島)	理事長	村上光信
鹿児島県	NPO 法人てしおてフードバンクてしおて	理事長	崎山尚子
鹿児島県	財部町身体障害者協議会(フードバンクそお)	会長	水流純一
沖縄県	NPO 法人フードバンクセカンドハーベスト沖縄	代表理事	奥平智子
沖縄県	一般社団法人サポートセンターHOPE	代表理事	山里世紀子